

（包紙上書）

「村川より手前江差入候一札」

（端裏書）

「□□ 両嶋寄合ニ仕證文」

取替シ申一札之事

一 当暮より竹嶋松嶋自今以後寄合之所  
務ニ仕候、然上ハ此儀ニ付縦損亡在之候ても  
利分在之候ても兩人割符仕、右之算用  
少<sup>茂</sup>無相違可致事

一 両嶋帰帆砌所務之品々少<sup>ニ而</sup>も無偽  
明白ニ可申相事

一 両嶋仕出之算用、是又互<sup>ニ少ニ而</sup>も  
隠偽申間敷事

右如一札之、子共之代ニ至迄両嶋寄合ニ  
仕候、然上ハ互無遠慮致相談、島仕出し  
入目互疑無之様ニ可仕候、尤損亡又ハ利  
分在之候節ハ猶以兩人割符無相違

様ニ堅算用可申事、仍テ為後々年之一札如件

天和元年

西ノ十二月廿三日

村川市兵衛（印）

大屋九右衛門殿